

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 46

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		水産加工業緊急支援対策事業														
評価者	担当課名	産業振興課		担当係名	水産係											
	管理職	職名	課長	作成者	職名	課長補佐兼水産係長										
		氏名	石井 弘道		氏名	大石 嗣夫										
事業の概要	水産加工業界の加工原料確保及び原油高騰等により、経営環境の悪化に伴う緊急支援対策として、町が一定の金額を預託し、緊急融資(限度額1社15,000千円)・融資に伴う利子補給(融資実行金融機関へ全額補給)・保証料の補給(50%)を平成22年度迄の時限措置として実施。				全体計画 (平成 20 年度 ~ 22 年度)	<table border="1"> <tr> <td>国・道支出</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>260,052 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>10,576 千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>270,628 千円</td> </tr> </table>	国・道支出	千円	地方債	千円	その他	260,052 千円	一般財源	10,576 千円	事業費計	270,628 千円
国・道支出	千円															
地方債	千円															
その他	260,052 千円															
一般財源	10,576 千円															
事業費計	270,628 千円															
実施方法	直営	民間委託		その他 ()												
第5期総合計画(前期)		登載事業		非登載事業	優先度	A										
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～														
	基本施策	3 水産業の振興														
	単位施策	2 経営基盤の強化														
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務												
	その他計画・根拠等															
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)										
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円										
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円										
	その他財源	100,398 千円	80,239 千円	35,031 千円	千円	千円										
	雄武町負担額(一般財源)	5,140 千円	2,511 千円	867 千円	千円	千円										
	合計	105,538 千円	82,750 千円	35,898 千円	千円	千円										

132

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内水産加工業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	経営基盤の悪化(加工原料の安定的確保)	融資実行件数			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	緊急支援対策により、経営の安定及び事業資金の確保を図る。	融資実行件数	目標年度	平成20年度	
			目標値	20 件	
			実績値	18 件	
			達成度	90.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	金融の円滑化により経営の安定化を推進し、水産加工業の振興を図る。		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
町内水産加工業者	雄武水産加工業協同組合の組合員への融資の斡旋(融資限度額15,000千円)、保証料の補給(50%)、利子補給(平成22年度未までの利子全額を融資実行金融機関に補給)。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	本事業は、町の主要産業の一つとして、町の雇用及び経済に大きな役割を果たしている水産加工業に緊急支援対策として、3ヵ年の補助を実施することにより、経営の安定化を図るものであり、支援が必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	水産加工業への緊急支援対策としての融資斡旋により、経営の安定化が図られている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	事業費抑制等のコスト削減ができない。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	


(4)事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	本事業は、町の主要産業の一つとして、町の雇用及び経済に大きな役割を果たしている水産加工業に緊急支援対策として、3ヵ年の補助を実施することにより、経営の安定化を図るものであり、融資申請者が一部負担している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
緊急支援対策で、金融の円滑化により経営の安定化を推進し、水産加工業の振興が図られている。		

 今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
継続 / 現状維持 本事業は、町の主要産業の一つとして、町の雇用及び経済に大きな役割を果たしている水産加工業に緊急支援対策として、3ヵ年(平成22年度迄)の補助を実施することにより、経営の安定化を図るものであることから、継続実施が必要である。 *展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止			

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)